

国道沿いの新たなシンボルに ア市記念品除幕式を挙行

アウクスブルク市から姉妹都市提携 50 周年の記念品として、アウクスブルク市の市章(松ぼっくり)を模ったブロンズのモニュメントが贈られました。

本市は、これを国道2号線に面したアルカイック広場(尼崎市総合文化センター東隣)に設置し、平成 21 年 10 月 4 日の姉妹都市提携 50 周年記念式典終了後、大勢の関係者が見守るなか、除幕式を執り行いました。



幕紐を引く両市長



姿を現すモニュメント



モニュメントの前で固い握手を交わす両市長

このモニュメントの製作者は、アウクスブルク市の画家であり彫刻家であるハンス・ハイヒェレ氏です。

記念品の除幕が行われると、観客から拍手が湧き起りました。

このモニュメントは、今も、人や車が行き交う国道2号線沿いのアルカイック広場において、両市友好交流の発展を見守り続けています。

ドイツ・アウクスブルク市の画家、彫刻家 ハンス・ハイヒェレ(Hans Heichele)

【略歴】

1934 年 アウクスブルク市に生まれる。
1952 年 金銀細工師の見習いを修了
その後、石工見習い、眼鏡矯正師、建築画家、医療挿絵画家、金銀細工師として活躍
1960 年 カルロ・シェレーマン版画・絵画学校に入学
1962 年以降 自営の画家、彫刻家として活動

【受賞歴】

1971 年以降 芸術家協会「エッケ」にて複数回受賞
1974 年 アウクスブルク市芸術振興賞
2005 年 マグヌス・レミー賞(シュヴァーベン郡芸術家協会より)